

日本人医師の役割はインドネシア人医師の教育です。

1日に一度症例検討会を実施したり、日々の診療のサポートをしています。

また、日本人看護師や日本人放射線技師も日本からインドネシアに来て日々医療技術の向上のために教育を行っています。



看護師に関しては EPA (Economic Partnership Agreement) と呼んで日本とインドネシアの間に経済や人材交流を促進する制度によって、日本で3年間看護助手として仕事をした看護師を採用しております。今後も日本に教育のために来日する機会もあるかと思しますので、その際はよろしくお願いいたします。

インドネシアにおける今後の展開

今後借行会は透析分野にも日本式医療を提供していくために準備をしています。現在インドネシアでは週2回、5時間透析が一般的になっています。ダイアライザーはリユース(再使用)であり合併症対策もあまり進んでいません。また、インドネシアは日本と比べて水が良くありませんので、水質管理を徹底していく必要があります。

借行会グループは日本でも大変優れた透析医療を提供しています。インドネシアの透析患者さんにも日本と同じ透析医療を提供していくために、努力していきます。

